

特定非営利活動法人とちぎユースサポーターズネットワーク

2018年度事業計画書

期間：2018年4月1日～2019年3月31日

2018年度の組織運営計画について —NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク—

(1)ビジョンとミッションの確認

ビジョン —目指す社会像—

それぞれの強みや違いを活かし、繋がり合い、主体的に未来を創る行動に溢れるいきいきとした社会

ミッション —社会的使命—

若者の力を活かして、地域の課題解決/活性化を加速する

(2)前年度(2017年度)の基本方針の実行検証と総括

上記のミッションの達成を図る為、2017年度の組織運営に係る基本方針として、以下の事項を設定した。

実行の検証を行い、2018年度の基本方針に活かしていく。

- ①動き出す個の支援の継続と、チームの力の強化を行っていき、チームインパクト、コレクティブインパクト等、それぞれの力をよき社会の実現に展開していく。またそれらにより、生まれた地域の新しい物語を紡ぎ、可視化していく。

プログラムの提供者数は6,595人となり、創設以来過去最大となった。支援の成果の可視化の試みとして、従来プログラム募集集約サイトSOZOに、新たなアイデアネクスト卒業生のその後を掲載したが、まだ組織的に根付いたとは言い難い。文字や写真でレポートのように発信したが、それぞれの支援成果をどう定義し、どこで切り取るかの迷いが起きてしまった。またアイデアネクストの現在のエントリー者と過去の修了生が集い現在の取り組みを報告したサミットでは、30名を越える参加があり、こうした直接経過を報告する機会を設置し、その報告を上げていくことが現実的かつ継続的な運用可能性が見えた。

全体的には、接点であるプログラム提供のその後の展開を可視化していくことができず、全体の業務の中での意味の深めた優先順位の引き上げと方法の簡易化を引き続き、検討したい。

- ②解像度を高めたビジョンの再設定と成果目標・インパクト評価の策定、2021年までのロードマップの策定を実施する。

今年度代表理事、副代表、事務局長の参加者で、定期的に素案づくりのための会議を持ち、議論を重ねたものの、文字として取りまとめるにまで至らなかった。その要因として、現在の外部環境と今後の社会的潮流の分析、当会に求められていることの広がり、オリジナル事業の弱小化、事業型か会員型かの議論、コレクティブインパクトを踏まえた他団体との連携による事業連携、等、多角的な議論と方向性があり、決めきれなかった。引き続き、早急な解像度の高いビジョンとロードマップの策定が必要である。

- ③プロジェクトチームが責任感をもって、プロジェクトをマネジメントし成果につなげていく。

プロジェクトチーム制をしいて2年目となったが、昨年度よりも適用な運用ができ、数値的にも一定の成果が上がった。他、職員間のバックアップが可能となり、事業の安定性を高めることができた。決断が各プロジェクトで行われるので、ひとりひとりの業務量と責任も増え、大変な側面もあるが、職員の成長も実感している。しかしながら本意ではないが、情報量の差からプロジェクトチームを横断した取り組みが見えず、プロジェクト毎の分断が起こりうるリスクもある。このリスクの解消が次年度において、急務である。

【総括】個々の職員の成長やプロジェクトチーム制など社内の挑戦的仕組みに関わる人の数の広がり等の成果に結びついてきた。しかしながら、関わった人たちがどれだけ地域社会や未来をより豊かにしてしたのかという本質的な成果を設定しきれず、伝えることができなかった。プログラムの提供を通じて、関わる若者が成長していくことはプログラムの質として強みとしてもよりと思えるが、その先にある彼らの力がどのように活かされたかをしっかりと地域社会に示す役割をより強くしていかなければならない。

(3)2018年度基本方針

ミッションの達成を図る為、かつ2017年度の基本方針の実行検証を踏まえて、以下の事項を2018年の基本方針とする。

①YOUTH TIMEを基軸としたプレイヤーの事業加速と新たなプレイヤー参画を支える。

アイデアネクスト修了生をはじめ当会のプログラムからプレイヤーとして地域課題・活性化に立ち向かう若者のその後の援護として定期的に、取り組みや必要としている資源、抱えている課題などを発表し、そこに何か始めたい若者や支援者(会員、寄付者)と繋がりそれぞれの現場を加速する機能を強くしたYOUTHTIMEを展開する。また地域の現場(課題や組織)や当会との接点かつ地域づくりへの動機付けともなる入り口のプログラムの提供者数が増える中で、そこでの接点を他のプログラムやすでに動いているプレイヤーとの直接的接点を創り出し機能としてもYOUTH TIMEを展開する。また地域のリーダーが集い集中して議論し、学び合うリーダーズ合宿(仮称)を開催する。

②成果の定義と可視化への挑戦

挑戦する若者への期待と信頼をより一層高め、“挑戦が循環する生態系を創りだしていく”上で、彼らの活躍の先にある成果とは何かを、社会に提示していく必要がある。しかしながら、何を持って成果とするかは未だ不明確であるため、今年度は、こちらの成果の定義を会員と協議し、その成果をどのように魅せていくかを定めていく。

③現場回帰への模索と検討

プログラムによる人材育成やコーディネート機能をより日常的なものにしていくため、また職員の課題解決力を高めていくために、当会自身が地域の課題に対して立ち向かう現場を持つための検討を行う。具体的には、まず我々が関わるべき地域課題の把握する。その後、活動拠点やその課題に対する継続的事業モデル、実施体制、資源調達などの計画を策定する。

(4)2018年度事業計画

①特定非営利活動に係る事業

事業の種類(定款)	事業プログラム	事業内容(案)	備考(1.実施日時、2.場所、3.事業パートナー)	自:自主事業 委:業務委託 補:補助金 助:助成金	成果指標 受益対象者の 範囲及び 人数	予算額 (千円)
実践型 インター ンシップ 事業	実践型インターンシップ 「GENBA CHALLENGE」	若者の力を取り入れて組織変革の加速	1.通年 2.企業3社 3.他	継続 自	2社 10名	
	宇大課題発見・解決インターンシ ップ	企業・行政から提示された課題に対してチーム となって解決に取り組むインターンシップ	1.6月～3月 2.宇都宮市内 3.宇都宮大学キャリア教育・就職支援 センター	継続 委	5社 20名	
起業・ 創業 ネット ワーク 事業	若者の社会をよくするスタートアップ プログラム「IDEA→NEXT」	ブラッシュアップ合宿 ファイナルプレゼンテーション	1.通年 2.栃木県内 3.協賛企業等	継続 自	10名	
	ソーシャルビジネスフォーラム ソーシャルビジネスセミナー ソーシャルビジネス留学 課題解決チーム型IDEA→NEXT	社会課題解決の立ち向かう創造型人材の掘り 起こしと育成	1.9月～12月 2.宇都宮市 3.宇都宮市産業政策課	継続 自 補	80名	
	「起業の理論と実際」	宇都宮大学での起業の実際と理論の授業運営	1.10月～ 2.宇都宮大学 3.宇都宮市産業政策課、宇都宮大学 キャリア教育・就職支援センター	継続 委	30名	
①社会 事業を 行う 人材 育成 事業	[新規]リーダーズ合宿	NPOリーダー等による経営・事業強化合宿	1.12月 3.コンサーレ	新規 自	15名	
	地域担 い手 定着 事業	「はじまりのローカル コンパス」	1.通年(6月～) 2.栃木県・首都圏 3. 県地域振興課	継続 委	100名	
		首都圏若手人材UIJターン事業	首都圏大学生生向けUIJターン	1.8月/2月 2.栃木県・首都圏 3.県地域振興課	新規 委	100名
	地域の担 い手 育成 事業	那須烏山市地域おこし協力隊研修	1.10月～2月 2.栃木県・首都圏 3.須烏山市	継続 委	3名	
地域づくり人材育成		1.通年 2.栃木県 3.栃木県地域振興課	継続 委	50名		
若者人 材育成	COC+連携事業	環境デザインセミナー／地域編集セミナー	1.夏期 2.栃木県 3.宇都宮大学COC+	新規 自	40名	
	企業向け人材育成事業	宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」 「実践マネジメント講座」(仮称)	1.5月～2月 2.栃木県内 3.宇大学長・理事	新規 委	20名	
その他 の事業	各種プログラム開発・提供事業	とちぎ学生未来創造会議「とちぎ未来留学」	1.9月～11月 2.栃木県内 3.とちぎ学生未来創造会議	継続 委	30名	

事業の種類 (定款)	事業プログラム	事業内容(案)	備考 (1.実施日時、2.場所、3.事業 パートナー)	自:自主事 業:業務委 託:補助金 助:助成金	成果指標 受益対象者の 範囲及び人数	予算額 (千円)
②ソーシャル プロジェクト支援事 業	とちぎ手仕事支援プロジェクト FukuFuku	福島の手仕事商品の販路開拓 福島での人材交流	1. 通年 2. 栃木県・福島県 3.	継続 自	50名	
	チーム支援事業	若者の力を取り入れた組織づくりへの指導、助 言	1. 通年 2. 宇都宮市 3.	継続 自	2組	
	宇都宮市魅力発信事業	市民シティプロモーション支援	1. 通年 2. 宇都宮市 3. 宇都宮市広報広聴課	継続 委	5組	
	企業CSRプログラム開発	企業のCSR活動を開発、運営	1. 通年 2. 栃木県内	新規 自	50名	
	YOUTH TIME(会員限定交流会)	会員間の相互交流と事業促進	1. 隔月 6回 2. 宇都宮市内	継続 自	80名	
	ベンチャーズ総合創業支援相談業 務	起業創業の相談窓口での対応	1. 通年 (18回) 2. 宇都宮市 3. 宇都宮ベンチャーズ/宇都宮市産業 政策課	継続 委	30名	
⑤ 挑戦す る若者を支 える奨学金 事業	ホンデチャレンジ	読まなくなった古本を寄付して、若者を育む仕 組み	1. 通年 2. 全国 3. バリューブックス	継続 自	10,000冊	
⑧ 情報発 信/出版事 業	地域を良くする企業と若者の物語	・若者チャレンジレポートの編集発行	1. 2回/年 発行	継続 自	---	
	情報発信	WEBサイト、SNS(FACEBOOK, Twitter, LINE@)、ソーシャルニュースの管理運営。	1. 通年	継続 自	60,000uu 180,000pv 2500いいね! 1000フォローウー	

(5)運営体制

総会:

代表理事:1名

理事:9名(岩井理事、塚本理事、古河理事、大塚理事、小久保理事、金井理事、野崎理事、清嶋理事、中野理事、)

監事:1名(安藤監事)

委員会(運営会員で構成):4委員会 若者白書をつくろう委員会、若者の政治参加のための意識向上委員会、
広報委員会、会員サービス委員会

職員:6名、うち常勤3名 非常勤3名(うち事業推進4名、事務総務2名)